

宮崎県に大雨特別警報発表

- これまでに経験したことのないような大雨
- 災害がすでに発生している可能性が極めて高く、警戒レベル5に相当
- 命の危険が迫っているため直ちに身の安全を確保

警戒レベル	取るべき行動
5	命の危険 直ちに安全確保！
～<警戒レベル4までに必ず避難！>～	
4	危険な場所から 全員避難
3	危険な場所から 高齢者等は避難
2	自らの避難行動 を確認
1	災害への心構え を高める

宮崎県えびの市に 大雨特別警報（浸水害）発表

- 今後、他の市町村にも特別警報発表の可能性。
- 特別警報の発表を待つことなく、避難情報に直ちに従い身の安全を確保
- 今いる場所の危険度を「キキクル（危険度分布）」で確認

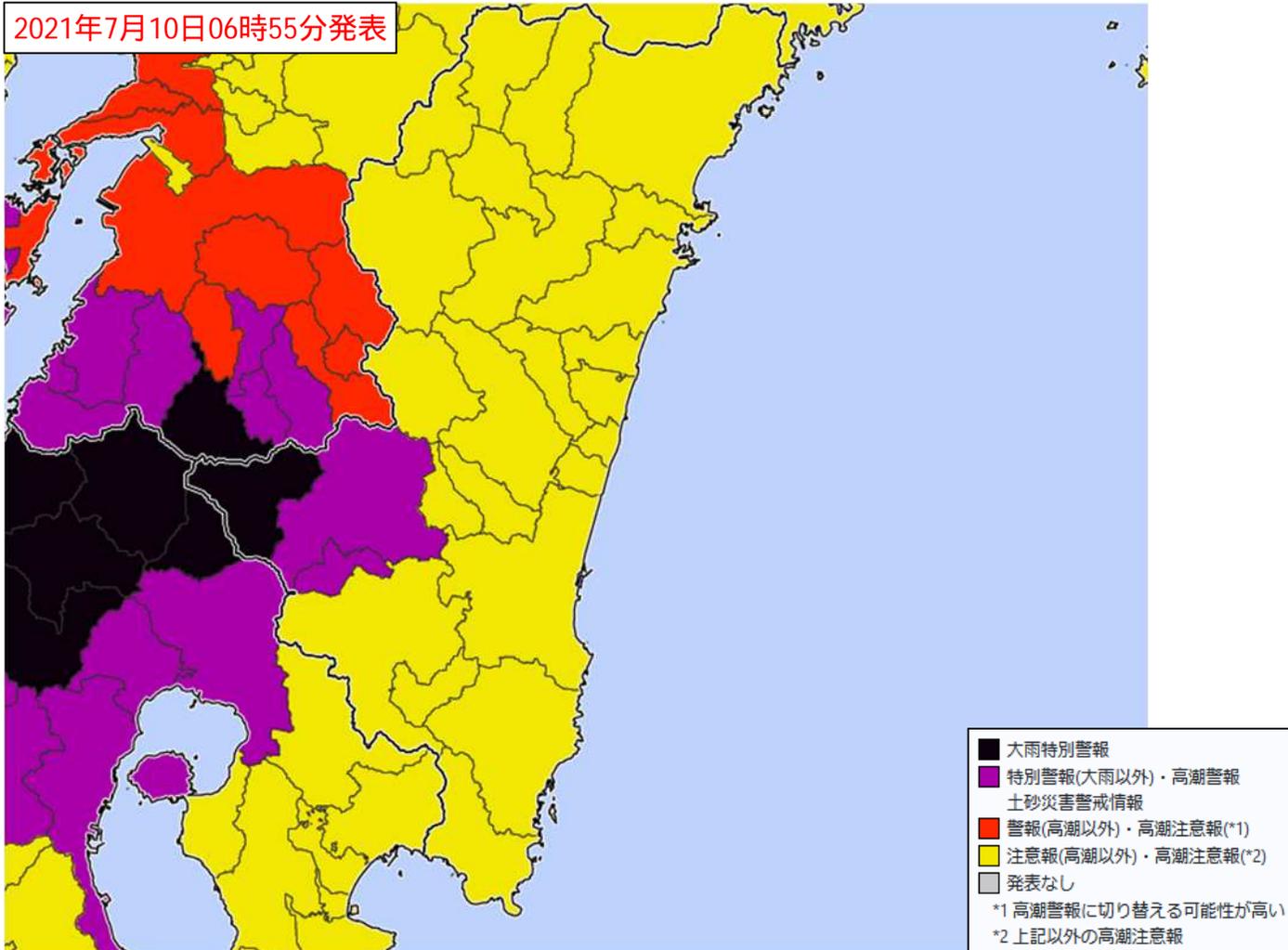
宮崎県に大雨特別警報発表

- えびの市に大雨特別警報を発表しました。これまでに経験したことのないような大雨となっています。
- 特に土砂災害警戒区域や浸水想定区域などでは、何らかの災害がすでに発生している可能性が極めて高く、警戒レベル5に相当します。命の危険が迫っているため直ちに身の安全を確保しなければならない状況です。

指定された避難場所への避難がかえって危険な場合には、少しでも崖や沢から離れた建物や、少しでも浸水しにくい高い場所に移動するなど、身の安全を確保する必要があります。
- また、普段災害が起きないと思われているような場所でも最大級の警戒が必要です。
- 特別警報が発表されてから避難するのでは手遅れとなります。自分の命、大切な人の命を守るため、特別警報の発表を待つことなく、地元市町村からすでに発令されている避難情報に直ちに従い身の安全を確保してください。
- 気象台等が発表する地域に応じた詳細な情報を確認するとともに、今いる場所の災害発生の危険度を気象庁HP等の「キキクル(危険度分布)」で確認してください。

特別警報・警報の発表状況

7月10日
07時時点の資料



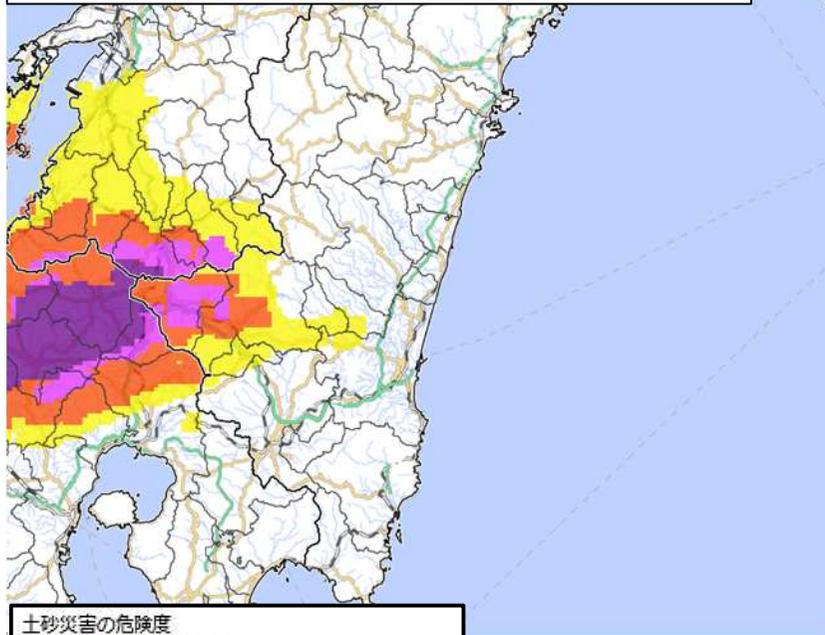
特別警報・警報が発表されている市町村内のどこで災害発生の危険度が高まっているかを「キキクル（危険度分布）」で確認してください。

今後の予想を含めた最新の情報は地元の気象台が発表した気象情報をご利用ください。
(気象警報・注意報：<https://www.jma.go.jp/bosai/map.html#contents=warning>)

キキクル(危険度分布)

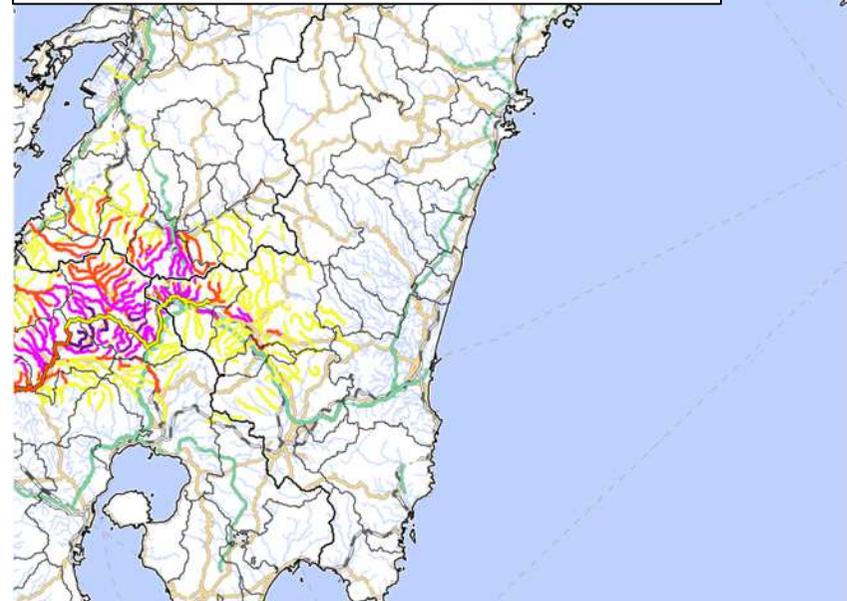
7月10日
07時時点の資料

土砂災害 2021年7月10日07時00分



地図出典：地理院タイル（加工して利用）等
© Japan Meteorological Agency 2020

洪水害 2021年7月10日07時00分



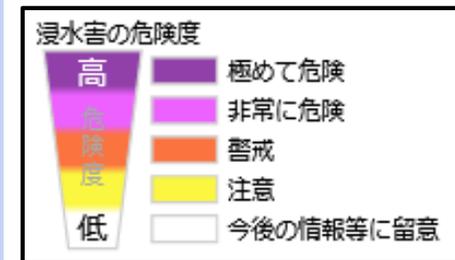
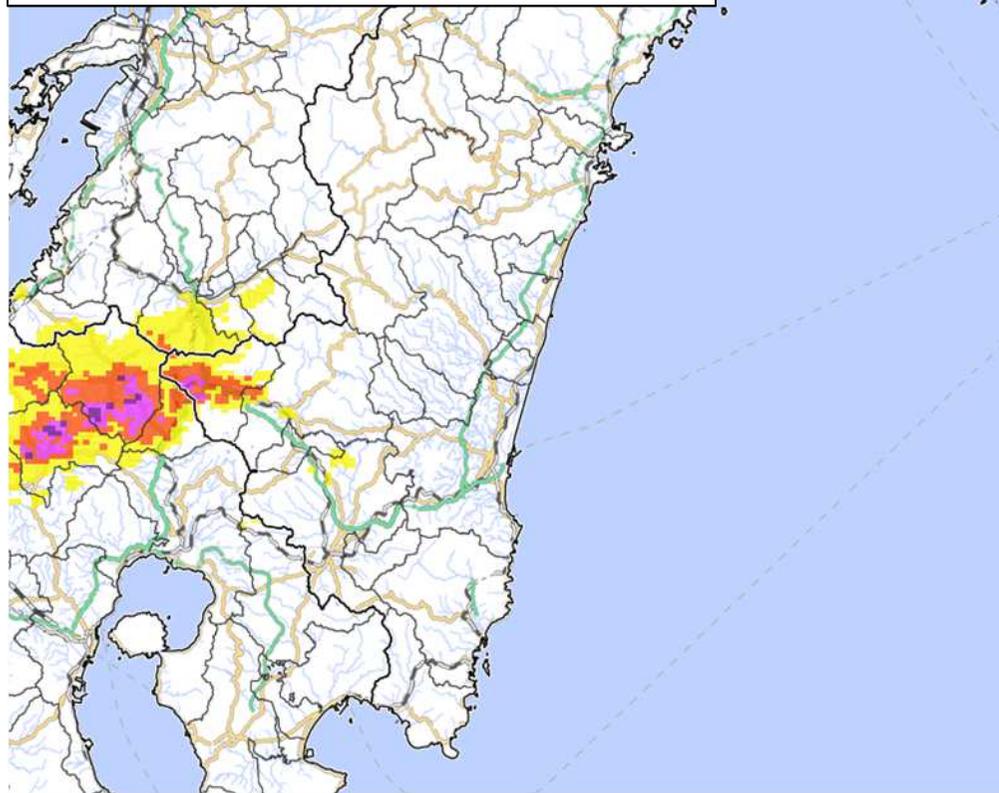
- キキクル(危険度分布)において、5段階に色分けされたうち、最大の危険度(濃い紫)となっている場所では、土砂災害や浸水害により、すでに避難が困難となっているおそれがあります。
- 上から2段階目の危険度(うす紫)となっている場所では、災害が切迫し、避難が必要とされる警戒レベル4に相当する状況です。
- これらの場所において、土砂災害警戒区域や浸水想定区域等の危険な場所からまだ避難できていない方は、直ちに避難の判断をしてください。

今後の予想を含めた最新の情報は地元の气象台が発表した気象情報をご利用ください。
(キキクル(危険度分布)：<https://www.jma.go.jp/bosai/risk/#elements:flood>)

キキクル(危険度分布)

7月10日
07時時点の資料

浸水害 2021年7月10日07時00分



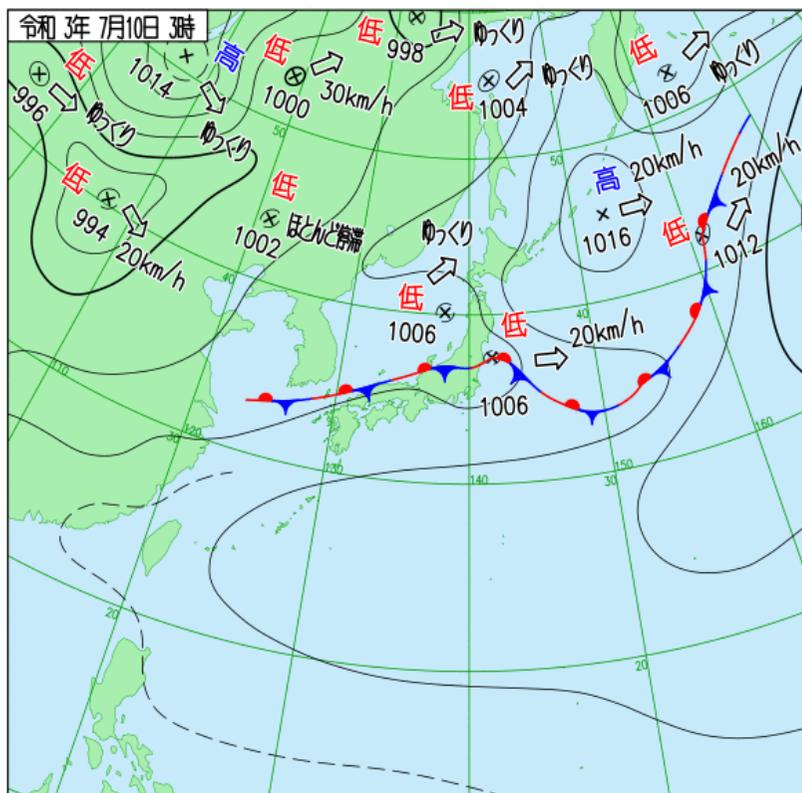
地図出典：地理院タイル（加工して利用）等
© Japan Meteorological Agency 2020

- 浸水キキクル（危険度分布）において、5段階に色分けされたうち、最大の危険度（濃い紫）となっている場所では、道路冠水や家屋浸水がすでに発生している可能性が高い状況です。そうなる前に、各自の判断で浸水が及ばない上の階に移動するなど安全を確保することが重要です。
- 土砂災害警戒区域や浸水想定区域等の危険な場所からまだ避難できていない方は、道路冠水等が発生している場所を移動すると、かえって命の危険を伴う場合があります。指定された避難場所に向かうことにこだわらず、避難先を自ら判断することも重要です。

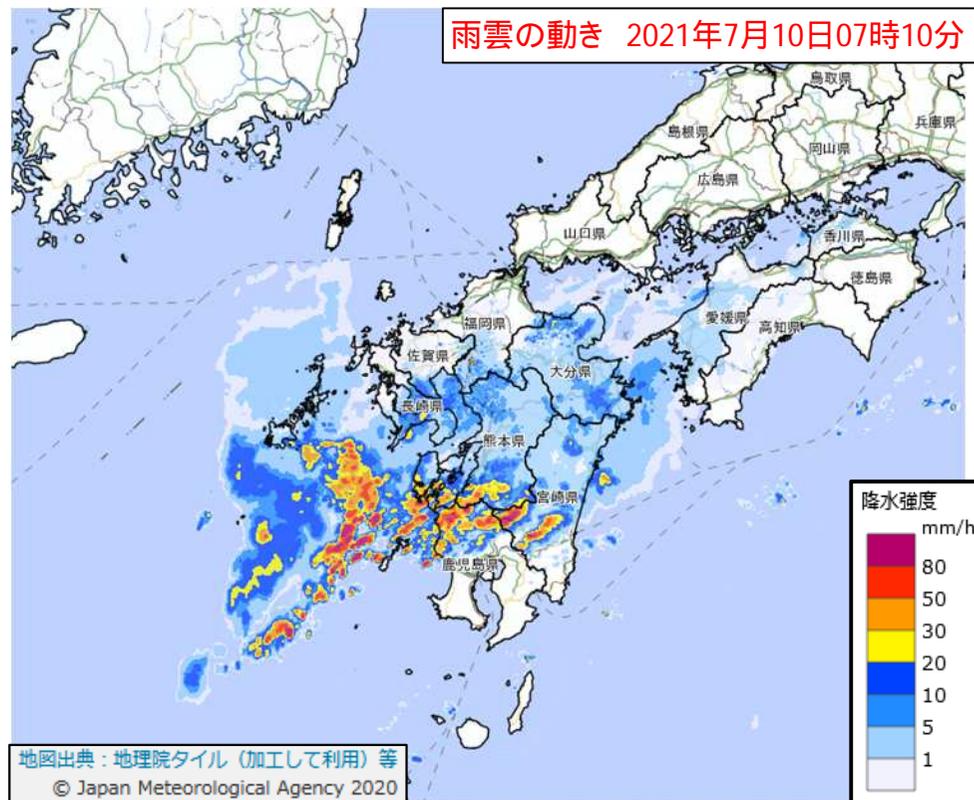
今後の予想を含めた最新の情報は地元の気象台が発表した気象情報をご利用ください。
(キキクル(危険度分布)：<https://www.jma.go.jp/bosai/risk/#elements:inund>)

気象実況

7月10日
07時時点の資料



地上天気図

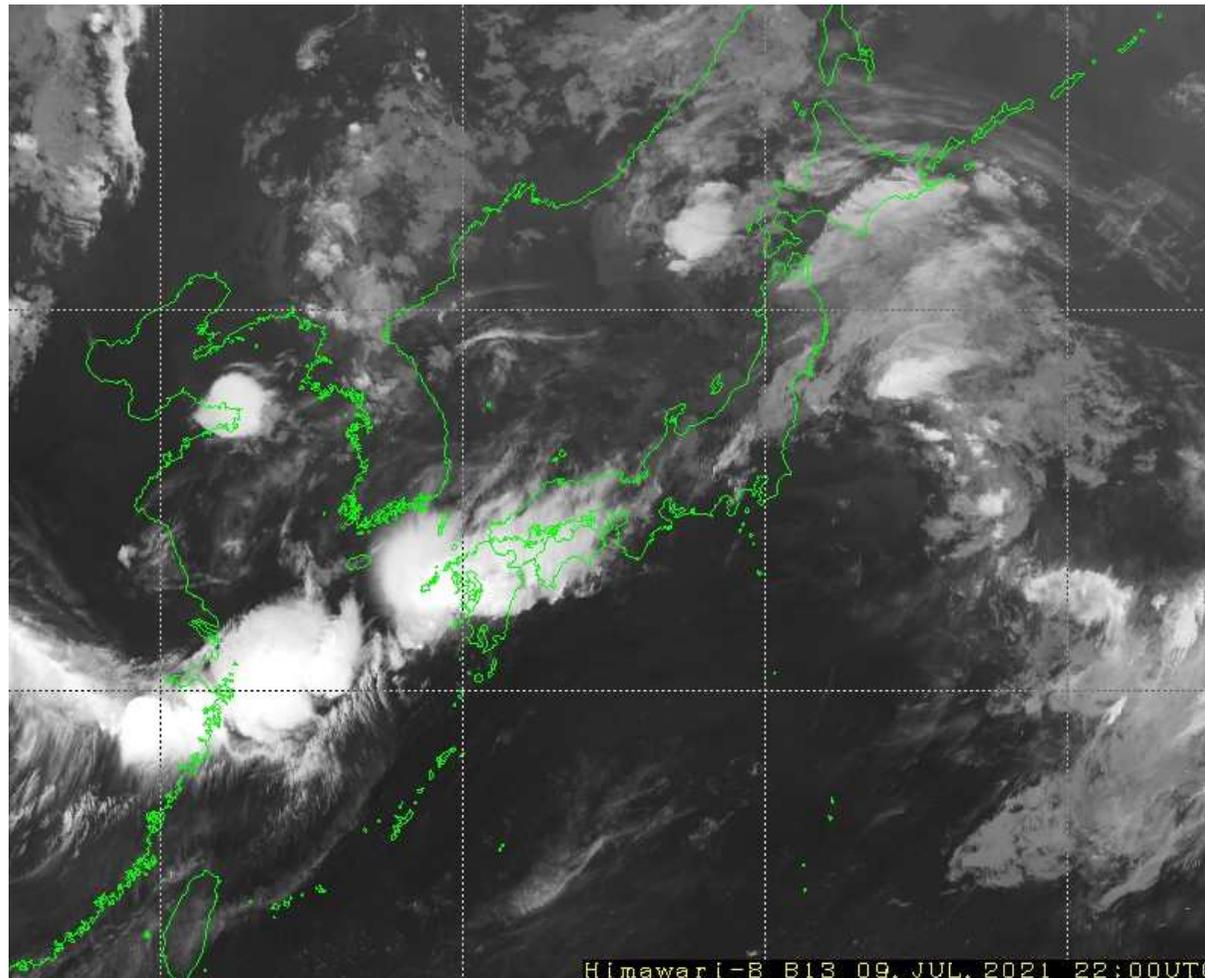


雨雲の様子

今後の予想を含めた最新の情報は地元の気象台が発表した気象情報をご利用ください。
(天気図: https://www.jma.go.jp/bosai/weather_map/)
(雨雲の動き(高解像度降水ナウキャスト): <https://www.jma.go.jp/bosai/nowc/>)

気象実況

7月10日
07時時点の資料

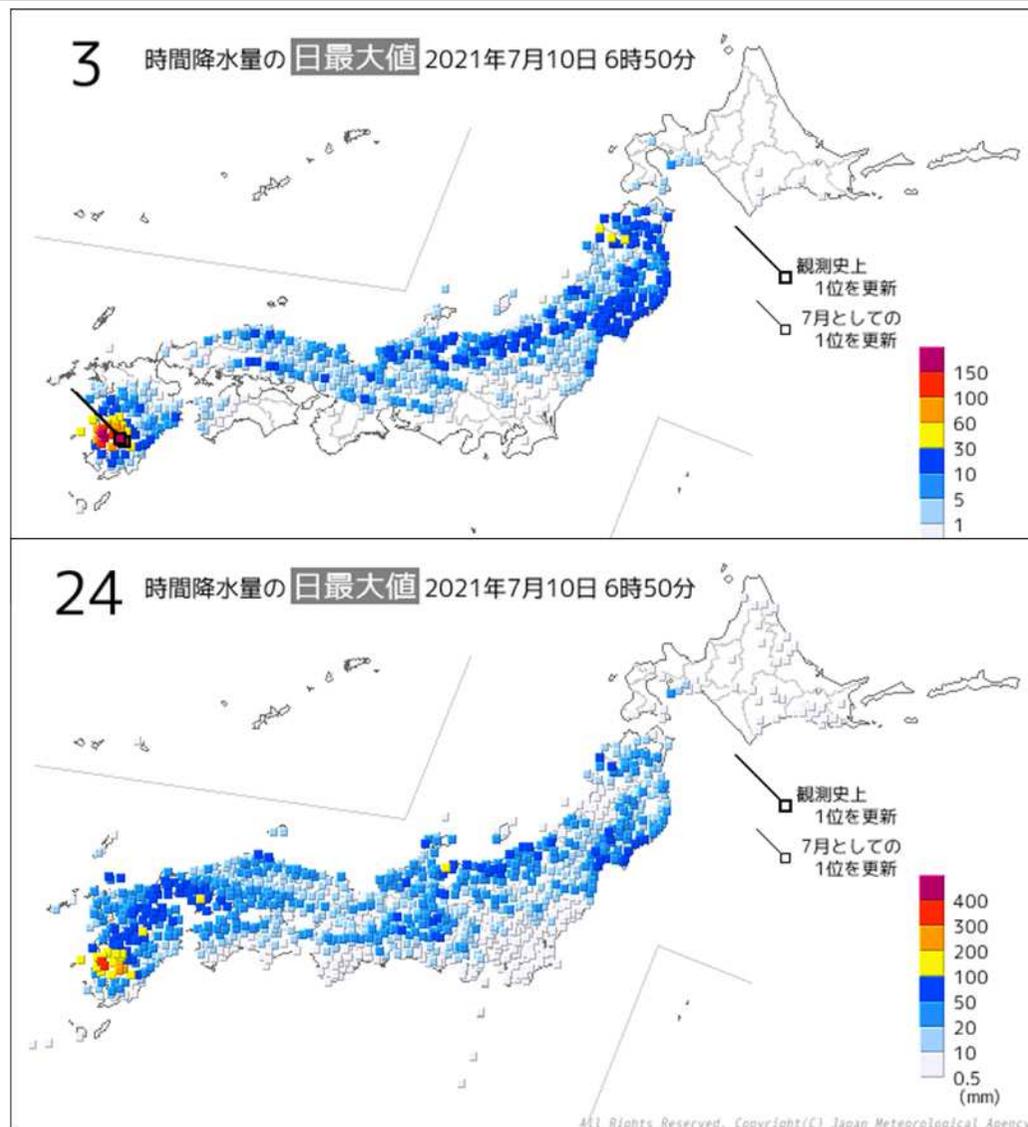


気象衛星(赤外画像)

今後の予想を含めた最新の情報は地元の気象台が発表した気象情報をご利用ください。
(衛星画像：<https://www.jma.go.jp/bosai/map.html#contents=himawari>)

気象実況(降水量)

7月10日
07時時点の資料



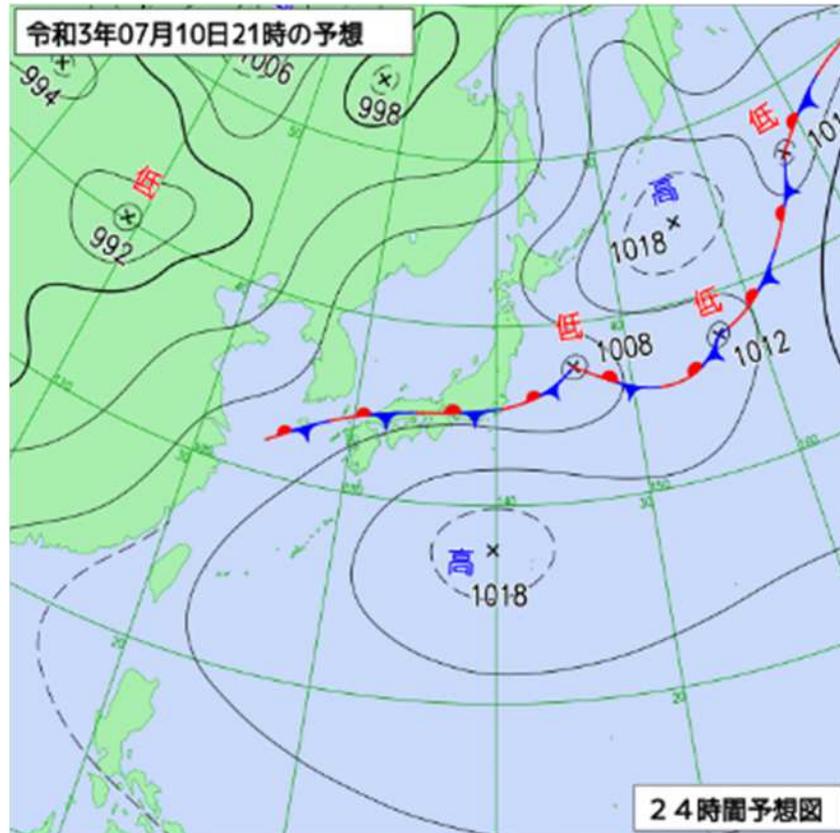
3時間降水量の 日最大値

24時間降水量の 日最大値

今後の予想を含めた最新の情報は地元の気象台が発表した気象情報をご利用ください。
(最新の観測データ：https://www.data.jma.go.jp/obd/stats/data/mdrr/pre_rct/index24_rct.html)

今後の見通し

7月10日
07時時点の資料



宮崎県では土砂災害、浸水害、洪水害の危険度が高まっています。10日昼前まで非常に激しい雨が降り、さらに危険度が高まる見込みです。

予想される雨量(多い所)

1時間 70ミリ

24時間 150ミリ

予想天気図
(7月10日21時予想)

雨量の見通し

今後の予想を含めた最新の情報は地元の気象台が発表した気象情報をご利用ください。

(予想天気図 : https://www.jma.go.jp/bosai/weather_map/)

(気象情報 (雨の見通しなど) : <https://www.jma.go.jp/bosai/map.html#contents=information&element=information>)

関連資料の掲載場所

今後の予想を含めた最新の情報は、以下からご利用ください。

気象警報・注意報（大雨、洪水、暴風（雪）、波浪、高潮、大雪などによる災害への警戒・注意を呼びかける）

<https://www.jma.go.jp/bosai/map.html#contents=warning>

キキクル(危険度分布)（どこで土砂災害、浸水害、洪水害の危険度が高まると予測されているかを地図上で表示）

土砂キキクル(危険度分布) <https://www.jma.go.jp/bosai/risk/#elements:land>

浸水キキクル(危険度分布) <https://www.jma.go.jp/bosai/risk/#elements:inund>

洪水キキクル(危険度分布) <https://www.jma.go.jp/bosai/risk/#elements:flood>

各地の気象情報（気象概況や大雨の見通し）

<https://www.jma.go.jp/bosai/map.html#contents=information&element=information>

台風情報（台風の位置・強さ・速度などの解析・予報、大雨や暴風の見通し）

<https://www.jma.go.jp/bosai/map.html#contents=typhoon>

指定河川洪水予報（国や都道府県の管理する主な河川の氾濫の危険度を予測）

<https://www.jma.go.jp/bosai/flood/>

土砂災害警戒情報（命に危険が及ぶ土砂災害の発生が切迫したときに厳重な警戒を呼びかける）

<https://www.jma.go.jp/bosai/map.html#contents=warning>

最新の気象データ（雨雲の動き（降水・雷・竜巻ナウキャスト）、今後の雨、雨や風の観測データ、衛星画像）

<https://www.jma.go.jp/bosai/nowc/>

<https://www.jma.go.jp/bosai/kaikotan/>

https://www.data.jma.go.jp/obd/stats/data/mdrr/pre_rct/index24_rct.html

https://www.data.jma.go.jp/obd/stats/data/mdrr/wind_rct/index_mxwsp.html

<https://www.jma.go.jp/bosai/map.html#contents=himawari>

14か国語による防災気象情報の提供

<https://www.jma.go.jp/jma/kokusai/multi.html>

避難行動判定フロー・避難情報のポイント（内閣府（防災担当））

http://www.bousai.go.jp/oukyu/hinanjouhou/r3_hinanjouhou_guideline/pdf/point.pdf

新型コロナウイルス感染症が収束しない中での避難について（内閣府（防災担当）・消防庁）

<http://www.bousai.go.jp/pdf/colonapoint.pdf>



位置づけ・役割

< 位置づけ >

大雨特別警報は、避難指示に相当する気象状況の次元をはるかに超えるような現象をターゲットに発表するもの。発表時には何らかの災害がすでに発生している可能性が極めて高い。

< 役割 >

- (1) 土砂災害警戒区域や浸水想定区域など、災害の危険性が認められている場所からまだ避難できていない住民が直ちに命を守る行動を徹底
- (2) 災害が起きないと思われているような場所においても災害の危険度が高まる異常事態であることの呼びかけ
- (3) 速やかに対策を講じないと極めて甚大な被害が生じかねないとの危機感を防災関係者や住民等と共有することによる、被害拡大の防止や広域の防災支援活動の強化

(参考) 5段階の警戒レベルと防災気象情報

警戒レベル	住民が取るべき行動	市町村の対応	気象庁等の情報				相当する警戒レベル
5	命の危険 直ちに安全確保！ ・すでに安全な避難ができず、命が危険な状況。いまいる場所よりも安全な場所へ直ちに移動等する。	緊急安全確保 ※必ず発令される情報ではない	大雨 特別警報	非キキクル (危険度分布)	氾濫 発生情報	5 相当	
<警戒レベル4までに必ず避難！>							
4	・過去の重大な災害の発生時に匹敵する状況。この段階までに避難を完了しておく。 ・台風などにより暴風が予想される場合は、暴風が吹き始める前に避難を完了しておく。	避難指示 第4次防災体制 (災害対策本部設置)	土砂災害 警戒情報	高潮 警報	高潮 特別警報	※2 極めて危険 非常に危険 氾濫 危険情報	4 相当
3	危険な場所から高齢者等は避難 ・高齢者等以外の人にも必要に応じ、普段の行動を見合わせ始めたり、避難の準備をしたり、自主的に避難する。	高齢者等避難 第3次防災体制 (避難指示の発令を半断できる体制)	※1 大雨警報 洪水警報	高潮警報に 切り替える 可能性が高い 注意報	警戒 (警報級)	氾濫 警戒情報	3 相当
2	自らの避難行動を確認 ・ハザードマップ等により、自宅等の災害リスクを再確認するとともに、避難情報の把握手段を再確認するなど。	第2次防災体制 (高齢者等避難の発令を判断できる体制) 第1次防災体制 (連絡要員を配置)	大雨警報に 切り替える 可能性が高い 注意報 大雨注意報 洪水注意報	高潮 注意報	注意 (注意報級)	氾濫 注意情報	2 相当
1	災害への心構えを高める	・心構えを一段高める ・職員の連絡体制を確認	早期 注意情報 (警報級の 可能性)				

「避難情報に関するガイドライン」(内閣府)に基づき気象庁において作成

1 夜間～翌日早朝に大雨警報(土砂災害)に切り替える可能性が高い注意報は、警戒レベル3(高齢者等避難)に相当します。

2 「極めて危険」(濃い紫)が出現するまでに避難を完了しておくことが重要であり、「濃い紫」は大雨特別警報が発表された際の警戒レベル5緊急安全確保の発令対象区域の絞り込みに活用することが考えられます。

(参考)「キキクル(危険度分布)」の通知サービスについて

- 土砂災害や洪水等からの自主的な避難の判断に役立てていただくために、危険度が高まったときにメールやスマホアプリでお知らせするプッシュ型の通知サービス¹を実施しています。
- この通知は市町村からの避難指示等よりも先に届く場合があります。このため、通知を受信したときには、市町村からの避難指示等を確認するとともに、避難指示等が発令されていなくても、市町村内のどこで危険度が高まっているかを「キキクル(危険度分布)」の地図や河川の水位情報等で確認することで、自主的な避難の判断^{2・3}に活用いただけます。



- 1 住民の主体的な避難の判断を支援する取組の一環として、気象庁の協力のもとで、以下のリンク先の5つの事業者が実施するものです。
(https://www.jma.go.jp/jma/kishou/knownow/bosai/ame_push.html)。
- 2 離れた場所に暮らしている家族に避難を呼びかけることにも活用いただくことができます。
- 3 避難にあたっては、指定された避難場所への避難がかえって危険な場合には、少しでも崖や沢から離れた建物や、少しでも浸水しにくい高い場所へ移動するなど、自らの判断でその時点で最善の安全確保行動をとることが重要です。